

ケーススタディから見た 環境シミュレーションを活かした 建築デザイン手法

本章では、「静岡建築茶会」に登壇した各氏とモデレーターが参画した実際の建築作品について、設計のプロセスをとおして、環境シミュレーションで得られた結果をもとにどのように空間デザインに活用したのかを概観する。

各事例は、住宅または非住宅として区分して整理した。光、熱、気流といった環境要素はトレードオフの関係にあるため、一要素のシミュレーション結果からデザインを決定する事は難しい。各事例の設計プロセスにおいて、コンセプトを構想し、敷地環境の特徴を把握し、気象分析を行った後、それぞれの環境要素をパラメータとしてシミュレーションをおこない、結果をどのように分析・評価し、デザインとして結実させていったのか読み取って頂きたい。竣工後に実測を行った事例からは、実際の環境要素の挙動と空間デザインの関係について、設計の意図通りになっていたのかについても言及している。